

## 環境影響評価特論演習

2 units (selection) 1st-year(2nd semester)

Yasuo Oyama · PROFESSOR / ENVIRONMENTAL SYMBIOSIS STUDIES, REGIONAL SCIENCES

**Target)** 学術論文解説と実験実施によって、専門的な環境影響評価に関する最新の知識を理解し、問題解決に活用できるようにする。

**Outline)** 化学物質の環境影響評価についての基幹知識を習熟する。また、化学物質の毒性評価を行い、論文(報告書)作成を行う。

**Keyword)** 毒性影響評価

**Notice)** なし。

**Goal)**

1. 環境影響評価に関する知識を理解し、問題解決に活用できるようにする。
2. 実験を行い、論文作成プロセスを体験する。

**Schedule)**

1. 環境汚染化学物質の環境影響評価に関する学術研究の現状
2. 哺乳類動物を用いた毒性影響評価に関して (1) 実験計画と手続き
3. 哺乳類動物を用いた毒性影響評価に関して (2) 実験
4. 哺乳類動物を用いた影響評価の方法・種差による問題点について
5. 哺乳類動物から摘出した臓器を用いた In Vitro 毒性影響評価と問題点について
6. 哺乳類臓器から摘出した細胞を用いた In Vitro 毒性影響評価と問題点について
7. 実験条件・手法による影響評価の限界と今後の展望について
8. 体験実験:細胞レベルでの化学物質の毒性評価 (1) 細胞生存率
9. 体験実験:細胞レベルでの化学物質の毒性評価 (2) 用量-反応
10. 体験実験:細胞レベルでの化学物質の毒性評価 (3) 細胞死メカニズム解析 1
11. 体験実験:細胞レベルでの化学物質の毒性評価 (4) 細胞死メカニズム解析 2
12. 体験実験:細胞レベルでの化学物質の毒性評価 (5) データ処理 (統計)
13. 体験実験:細胞レベルでの化学物質の毒性評価 (6) 図表作成
14. 体験実験:細胞レベルでの化学物質の毒性評価 (7) 論文作成 1
15. 体験実験:細胞レベルでの化学物質の毒性評価 (8) 論文作成 2
16. 総括

**Evaluation Criteria)** 体験実験の結果で総合的に判断する。

**Re-evaluation)** なし。

**Textbook)** なし。

**Reference)** 学術論文や参考書を適宜指示する。

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218014>

**Contact)**

⇒ Oyama (総合科学部 3号館 3N06, [oyama@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:oyama@ias.tokushima-u.ac.jp)) **MAIL**  
(Office Hour: メールで用件を伝えてください。内容により、日時の設定をします。)